

<海釣り>

1 時間

ショート (100分)		ロング (180分)	
(1)	8:30~10:10	(1)	8:50~11:50
(2)	13:00~14:40	(2)	13:30~16:50
(3)	15:10~16:50		

2 場所

渋川港周辺、渋川海岸東潜堤周辺

3 人数・班編成

30人・1班6人程度で編成

4 服装

帽子・体操服等の活動しやすい服・運動靴

5 費用

一人100円 (エサ代等)

6 準備物

青年の家が準備 ()は数量		個人又は団体が準備	
個人	救命胴衣 (1)	個人	竿 (持参しても良い)
	延べ竿 (1)		タオル (必要に応じて)
班	バケツ (1)	団体	ゴミ袋 (小)
	雑巾 (1)		
	用具セット (1)		
	エサ (1)		
団体	新聞紙 (1)		
	指導者用工具箱 (1)		

7 その他

- 天候により研修を中止する場合がありますので、代替の研修を決めておきます。
- 同宿校の人数やプログラム編成等により、依頼研修として設定できない場合があります。

7 研修の流れ (自主研修での例)

内容	時間 (分)	研修生の動き	引率者の動き・留意点
説明	15	○救命胴衣を着用する。 ○説明を聞く。	○用具をグラウンドに運んでおく。 ○救命胴衣を着用させる。 ○指導資料を参考に説明、実演する。
移動	10	○用具を持ち、班ごとに移動する。	○安全に注意して移動させる。
準備・釣り	ショート 40 ロング 120	○釣りの注意事項を聞く。 ○釣り場を決め、仕掛けの準備をする。 ○エサを付けて釣りをする。	○指導資料を参考に説明する。 ○釣りのマナーに留意させる。 ○危険な場所に行かせない。 ○巡回し、適時支援する。
まとめ	10	○釣れた魚を持って集合し、説明を聞く。その後、魚を逃がす。 ○ハリスを外し、バケツに入れる。 ○竿を片付け、ごみを持ち帰る。	○研修生の釣った魚の説明をし、その後魚を逃がさせる。 ○ハリスを外すときには、十分気を付けさせる。 ○ハリスやごみ等が落ちていないか確認する。
移動	10	○用具を持ち、班ごとに移動する。	○安全に注意して移動させる。
片付け	15	○用具を片付ける。	○貸出用具の確認をし、所定の場所に返却させる。

【海釣りマップ】



海釣り指導の手順

1 研修生への説明

(1) 釣るときの注意

- ア. 渋川港周辺、又は渋川海岸東突堤周辺で釣る。
- イ. 安全のため、救命胴衣を着用する。
- ウ. 岩場は滑りやすい。(干潮時)
- エ. ごみはバケツに入れて持ち帰る。
- オ. 釣れた魚は雑巾でつかむ。(危険な生物は、必ず雑巾を使用する。)

(2) 持ち物の説明

- ア. バケツの中に用具(エサ、エサ入れ、雑巾、用具箱)を入れて運ぶ。
- イ. バケツ、用具はリーダーが責任を持って管理する。
- ウ. 釣れた魚はバケツの中に入れる。

(3) 釣る準備

- ア. 延べ竿^{えんぺ}を伸ばす。
- イ. 竿先^{さき}に仕掛けを結び付ける。

(4) 釣り方

- ア. ウキ下の長さを、1m~1.5mにする。(ウキ下の長さは、水深によって調整する。)
- イ. エサは5cmぐらいに切り、ハリに付ける。
- ウ. ポイントに仕掛けを垂らし、当たりを待つ。
- エ. ウキがビクビクしたら上げる。

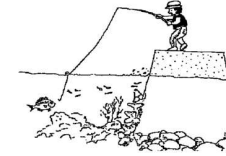
(5) 釣りの終了

- ア. 集合場所(浜)に集まる。
- イ. 釣れた魚の話をする。
- ウ. 用具の片付けをする。
- エ. サルカンより下(ハリス)をハサミで切り持ち帰り、新聞紙に包み処分し、用具箱は中を確認する。
- オ. 釣れた魚は海へ放す。(小さな魚数匹程度ならオリエンテーションホール水槽に入れることが可能です。その場合は青年の家職員に必ずお知らせください。)
- カ. バケツは水洗いし、竿^{えんぺ}は元のとおりにして返却する。

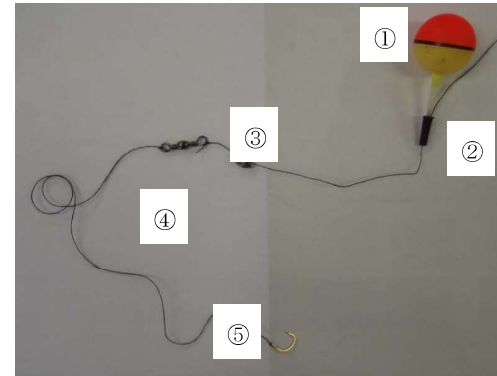
【参考】

(1) ウキ釣り

一定の深さを広範囲に釣るときの方法で、ウキの変化を見て、合わせる一般的な釣り方。海釣りでは、防波堤や磯からの釣りに多く用いられる。



(2) 仕掛け



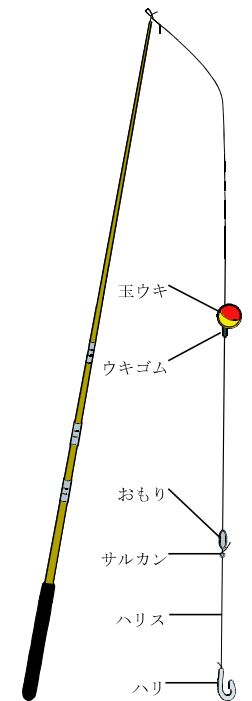
①玉ウキ

②ウキゴム

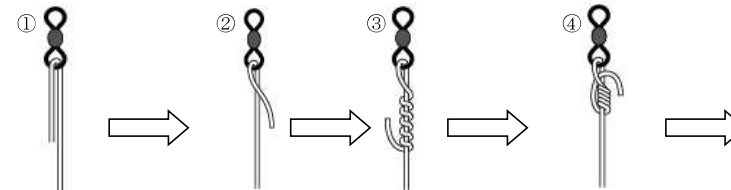
③おもり

④サルカン

⑤ハリス、ハリ



(3) サルカンの結び方



②③ラインを本線に4回程度、巻き付ける。

④巻き付けてできた輪にラインを通す。

⑤引っ張ってラインを締める。最後に余分なラインを5mmほど残して切る。